

小林 秀彦

改革ネットフック（市民の声、日本共産党、改革のしろ）

介護保険料負担増への市の考えは

【質】 第1号被保険者の介護保険料が、月額で1025円増額となる予定である。保険料の高さに年金生活者が負担の重さを訴えている。市として、こうした声にごう答えるのか。

【答】 保険料については増加状況が続いており、多くが年金生活者である第1号被保険者にとっては、負担になるものと考えている。市では、これまで以上に、介護予防や自立支援・重度化防止への取り組みを推進し、元気な高齢者の増加を図るなど、保険料の上昇を抑制するための取り組みも進めていくため、市民の皆様には御理解をお願いしたい。

脳ドック検診への助成の考えは

【質】 脳血管疾患や脳腫瘍などの有無を調べる検査として脳ドックが有効だが、高額な費用がかかる。脳疾患の予防と早期発見、早期治療を促進するため、脳ドック検診への助成を検討すべきでは。

【答】 市では、食生活、運動、禁煙等について、医師による講話、調理実習における減塩指導等の生活習慣改善や疾病予防対策に重点的に取り組んでいる。脳ドックは、検診費用が高額であることから助成費用も多額の経費を要するため、実施については今後も検討を続けることに、予防事業の充実・強化に努めたい。

その他の質問事項

- 能代市保健センターの今後のあり方
- 小規模小学校、中学校の統合

中田 満

議会改革を推進する諸派の会

私にはプランがありますの具体的な中身

【質】 最初の市長選で12項目を公約されたが、総花的印象も受ける。その成果と反省点はなかったのか。

【答】 市長就任後、合併前からの課題、新市の行政対応や当面する課題解決に取り組むとともに、私の思い描く能代市の将来に向け、能代市総合計画を策定してさまざまな施策を推進し、関係指標等に見られる成果を上げてきた。課題としては、さらなる人口減少・少子化対策、中心市街地の活性化等と捉えており、これらの施策は、第2次総合計画に盛り込む。

中心市街地活性化の現状と今後

【質】 中心市街地活性化は市長の言葉の端々からは、十分でなかったとも受けとめられる。能代では何が問題で、行政は何に緊急に取り組まなければならないのか。

【答】 商店街の振興、空き店舗や老朽建屋対策、能代北高跡地や能代駅前の公設市場跡地の利活用等などのように取り組んでいくのか、また、取り組みに当たって民間がどのような役割を担い、市はどのような連携を図っていくのかが課題であり、中心市街地活性化推進協議会、関係団体の意見・提案等を踏まえながら取り組みを進めたい。

その他の質問事項

- 地場産業の振興
- 企業誘致の効果的な支援策
- 農家の高齢化、担い手不足

安岡 明雄

改革ネットフック（市民の声、日本共産党、改革のしろ）

気づいたことはすぐ行う市の働き方改革

【質】 先進事例を見ても、ICT活用は目覚ましい発展を遂げている。タブレットを使ったテレビ会議など、積極的な取り組みで業務の効率化、時間外勤務問題に生かすべきではないか。

【答】 本庁舎と二ツ井町庁舎の職員が参集する会議の場合、庁舎間の移動時間が負担になっているとの意見が職員から出されている。オンライン会議システムの導入により負担軽減や業務効率化につながることを考えるが、セキュリティ対策や費用のほか、操作性、意思疎通や効果的な議論ができるか等、運用上の課題がないか、調査・研究していきたい。

市職員の定員適正化計画のあり方

【質】 計画初年度に削減後の職員数の目標値を下回る設定で、わかりづらい計画になっている。専門職採用による業務改善で、業務量を減らしながら質の維持が重要である。当計画の目標数値設定でよいのか。

【答】 第3次計画からは、年々増加する再任用職員を新たに目標数に組み入れ、業務量の状況に応じた職員数を設定したため、このような目標値となったが、再任用を除いた職員数では、年々減少する計画である。社会情勢の変化等により求められる人材も変化するため、専門性も考慮しつつ、さまざまな課題に柔軟に対応できる人材を確保できるよう努めたい。

その他の質問事項

- 齊藤市政4年間の総括（検証）
- 次期政策公約と総合計画の整合性
- 30年度当初予算編成（骨格予算）